

事業報告書

(第1期)

自 2021年3月30日
至 2021年8月31日

特定非営利活動法人日本ふれパト協会

兵庫県神戸市中央区下山手通五丁目4番1号 兵庫県警察本部庁舎内

目次

1. 基本方針の検証.....	2
2. 特定非営利活動に係る事業の検証.....	2
2-1. ふれあいランニングパトロール(ふれパト)実施普及事業.....	2
2-1-1. 「チームふれパト」(7人以上)の実施.....	2
2-1-2. 「グループふれパト」(6人以下)の実施.....	2
2-1-3. 「ふれパト大志」(ふれパトの普及・発展の役割を担うリーダー)の委嘱.....	3
2-1-4. ふれパトの運営方法を議論する「ふれパトランナー委員会」の開催.....	3
2-1-5. 登録ランナーの交流の機会として「わいわいふれパトーキング」の開催.....	4
2-1-6. 次年度活動会員の募集.....	4
2-1-7. 次年度パートナーシップ社・団体(所属職員がふれパトに参加する)の募集.....	4
2-1-8. ふれパトユニホームTシャツの販売.....	4
2-2. 学生地域安全ボランティア活動実施普及事業.....	5
2-2-1. 「学生ふれパト」(大学生防犯ボランティアが中心になって行う).....	5
2-2-2. 学生防犯ボランティアが意見交換を行う「学生防犯ボランティア委員会」の開催..	5
2-3. 地域安全促進のための地域・国際交流事業.....	5
2-3-1. ふれパトの定例実施を希望する地域に出向く「応援ふれパト」の実施.....	5
2-4. 地域安全に関する教育研修事業.....	5
2-4-1. ランナー向け熱中症対策セミナーの開催.....	5
2-4-2. 「ふれパト大志」向け研修.....	5
2-4-3. ふれパトの視察や講師派遣の希望に応じる「歓迎ふれパト」「伝授ふれパト」.....	6
2-5. 地域安全に関する調査研究事業.....	6
2-5-1. ふれパトで走ったコースと犯罪などの事案発生箇所を地図上で示す「ふれパトコース報告」のインターネットでの公開.....	6
2-6. 地域安全に関する出版物などコンテンツ制作発行事業.....	6
2-6-1. ふれパトのこれまでの3カ年をまとめた報告書の発行.....	6
2-6-2. ふれパトの実施方法をまとめたマニュアルの販売.....	6
3. 事業実施体制.....	6
3-1. 理事会.....	6
3-1-1. 第1回(4月10日、理事全員出席).....	6
3-1-2. 第2回(5月30日、理事全員出席).....	6
3-1-3. 第3回(6月19日、理事全員出席).....	6
3-1-4. 第4回(8月29日、理事全員出席).....	7
3-2. 事務局.....	7
3-3. 会計.....	7

1. 基本方針の検証

2020年度の事業計画で掲げた下記方針はほぼ実現できた。

兵庫県警察・株式会社神戸新聞社・株式会社アシックスが活動推進運営委員会を組織し、2018年4月に開始した「ひょうごふれあいランニングパトロール」の運営を引き継ぐ。9月の新年度開始に向けて活動会員を募集するとともに、「ふれあいランニングパトロール®」（「ふれパト®」）の実施形態を新たに、普及・発展の役割を担う「ふれパト大志」（広める「大使」と発展を目指す「大志」をかけた造語）の委嘱を進め、ボランティア自身による運営体制を整える。加えて、既存の学生防犯ボランティアのネットワークを活用して、兵庫県外でのふれパト実施の試行も行う。

2. 特定非営利活動に係る事業の検証

2020年度の事業計画に盛り込んだ事業の実施状況を検証する。回数などは、断りのない限り、法人成立の2021年3月30日以降のものである。

2-1. ふれあいランニングパトロール（ふれパト）実施普及事業

2-1-1. 「チームふれパト」（7人以上）の実施

過去の実績から毎月20回程度の実施を計画していたが、COVID-19対策として図表1のとおり活動制限のお願いをしてきたため、「チームふれパト」（従来調整型）は一度も実施できなかった。

図表1 感染症対策のためのふれパト活動制限のお願い

現在のお願ひ	対策名	お願いする活動制限内容
8月20日金曜日から、緊急事態が解除されるまで（9月12日日曜日予定）	対策E （兵庫県が緊急事態措置実施区域に入っている期間）	小グループ型（6人上限1班のみ）のみ可。参加者居住地・活動範囲とも同一市町内を目安に（場所によっては隣接市町にかかるのも可）。20時までに帰宅する。
	対策30 （兵庫県の1週間平均の新規陽性者数が30人以上）	小グループ型（6人上限1班のみ）のみ可。参加者居住地・活動範囲の一律制限のお願いはしない。
	対策20 （兵庫県の1週間平均の新規陽性者数が30人未満）	小グループ型（6人上限1班のみ）に加えて、従来調整型12人（6人×2班編成）まで可。
	対策10 （兵庫県の1週間平均の新規陽性者数が20人未満）	小グループ型（6人上限1班のみ）に加えて、従来調整型18人（6人×3班編成、間隔をあけての同コースは2班まで）まで可。

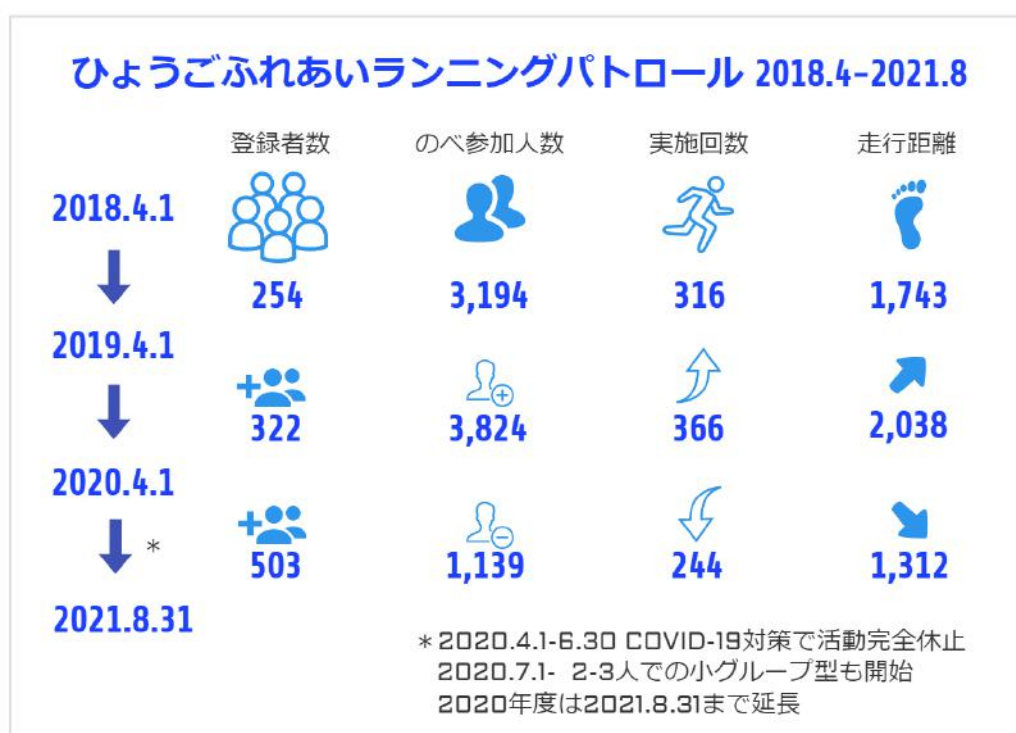
2-1-2. 「グループふれパト」（6人以下）の実施

こちら、毎月20回程度の実施を計画していた。しかし、緊急事態宣言期間が2020年度5カ月

中約2カ月に及び、最も制限の大きい「対策E」の願いを余儀なくされた。しかし、活動の全面停止はなく、防犯パトロールの必要性和感染症対策とを両立させ、2020年度中5カ月中56回の「グループふれパト」（小グループ型）が実施された。平日の小学校登下校時の見守りという、従来はあまり応じられていなかった防犯ニーズを意識した活動が定着した。これは、制約のなかで新たな活動形態を生み出すふれパトランナーの意欲と工夫の大きな成果と考える。

なお、8月末まで年度延長したひょうごふれパト2020年度中のふれパト活動の実績は図表2のとおりである。5か月の延長で、2019年度の66.7%の回数の活動が実施できた。

図表2 ひょうごふれパトの3年間の実績



Free Infographic Maker VENNGAGE

2-1-3.「ふれパト大志」（ふれパトの普及・発展の役割を担うリーダー）の委嘱
32人がふれパト大志に立候補していただき、9月1日付で全員をふれパト大志に委嘱することになった。

2-1-4.ふれパトの運営方法を議論する「ふれパトランナー委員会」の開催
法人登記前の3月21日から毎月1回、計6回、ふれパト大志候補と理事が集まって（いずれもZoomでの開催）、ふれパトランナー委員会設置準備会を開催した。新しいロゴ・エンブレムやチーム制などに関する検討・決定をした。幹事は理事の今井豊が務め、代表理事の中沼が準備や進行の段取りを行った。

2-1-5.登録ランナーの交流の機会として「わいわいふれパト—キング」の開催
事業計画では7月開催を予定していたが、COVID-19の状況から開催を見送り、2021年度の
秋冬での開催を予定している。

2-1-6.次年度活動会員の募集

6月7日より募集を開始し、8月31日までで、159人の入会申込があった。正会員53人と合わせると212人となり、ひょうごふれパト2020年度登録者503人の42.1%となった。活動の休止
や制限が続いたことと、従来とは異なりTシャツの無償提供を含まない年会費をお支払いいただく
ことを踏まえると、これまでの実績の評価と今後のビジョンへの共感は十分に頂いていると考えてい
る。

2-1-7.次年度パートナーシップ社・団体(所属職員がふれパトに参加する)の募集

2020年度中には本格募集の開始ができず、ひとつのパートナーシップ社・団体も誕生してい
ない。2021年度は、リモートワーク時代にふさわしい職員個人の社会貢献と健康増進のパッケージ
として、ふれパトを積極的にPRしていく。

2-1-8.ふれパトユニホームTシャツの販売

当初、ひょうごふれパト時と同様、アシックス社から供給を受ける予定だったが、法人成立後の新
たな協議で条件が折り合わず、断念せざるをえなかった。当初予定の1枚2,000円の販売で赤字
が出ないよう、ノンブランドのTシャツにオリジナルプリントをするよう検討し、持続可能性を確保する
ため、協力などを前提としない普通の発注で条件に合う製作を依頼できる業者を探した。オリジナ
ルプリントをしたサンプルを確認したうえで、発注することとした。

Tシャツのデザインは、ロゴ・エンブレムをリニューアルとともに、ひょうごふれパト発足時にアートデ
ィレクションをお願いした山脇克孝氏をお願いした。同氏の提案をランナー委員会設置準備会で検
討・承認した。

新しいロゴ・エンブレムについては、ひょうごふれパトのものを継承しつつ、本協会がビジョンとす
る「人々のふれあいを広げ、将来につなげる」という温かさとしなげの共存を込めたデザインにした。
その新ロゴ・エンブレムを入れたTシャツは、“ユニホーム感”を強め、これまで以上に、ふれパトラン
ナーに自信と誇りを持ってまちを走って見守っていただけるものとしてある。

入会申し込みのあった方に対して、年会費納入とともにふれパトTシャツ購入の案内をし、8月末ま
までに72枚の購入を受けつけた。入会者数に対して3割ほどにとどまるが、その一因は2020年度
のひょうごふれパトTシャツを着る機会があまりなかったことにあると思われる。

なお、下記2-2のふれパト学生委員会設置準備会の森田瑞稀さんから、「ふれパトで使ってくれ
なきゃもったいない!」というコンセプトのもと過年度のふれパトTシャツやビブス、エコバッグなどを
販売する企画の提案があり、8月21日から販売を開始した。8月末までに16アイテムを販売。販
売益は、チームが提案する環境保全活動に50%、ふれパト大志の活動に40%、環境保護団体な

どへの寄付に10%を当てる予定である。

2-2. 学生地域安全ボランティア活動実施普及事業

2-2-1. 「学生ふれパト」(大学生防犯ボランティアが中心になって行う)

摂南大学法学部中沼研究室の学生が中心となって、宝塚市(3回)、尼崎市(2回)、西宮市(1回)、大阪市(3回)、堺市(1回)、東大阪市(1回)で行った。

なお、COVID-19の影響で宝塚市ではふれパト活動が休止していたが、同研究室4回生の上垣内雄介さんが同市で友達とふれパト活動をしている Facebook 報告を見て、西宮市のふれパトランナーが宝塚市のふれパトランナーにつないでくださり、上垣内さんが中心となって宝塚市のふれパト活動が再開することになった。

2-2-2. 学生防犯ボランティアが意見交換を行う「学生防犯ボランティア委員会」の開催

本協会に入会した摂南大学法学部中沼研究室の学生4人が、第1回ふれパト学生委員会設置準備会を8月23日に開催した。幹事を上垣内雄介さんとし、学生委員会ふれパトチームの設立と学生地域安全ボランティアフォーラムの開催について検討した。今後、広報を行い、広く他大学の学生にも参加してもらえるようにする。

2-3. 地域安全促進のための地域・国際交流事業

2-3-1. ふれパトの定例実施を希望する地域に出向く「応援ふれパト」の実施

京都府警察八幡警察署より、8月27日の小学生下校時一斉見守りを応援してほしいと依頼があったが、緊急事態宣言発令により延期となった。

2-4. 地域安全に関する教育研修事業

2-4-1. ランナー向け熱中症対策セミナーの開催

7月10日、「ふれパトランナーのための熱中症対策セミナー」をYouTubeLiveで配信した。講師は、ひょうごふれパトの協力社である大塚製薬株式会社のニュートラシューティカルズ事業部大阪支店神戸出張所の時和久さんに依頼。同社より、視聴者プレゼントとして、ボディメンテドリンク500mlとポカリスエットアイススラリーをいただいた。事前申し込み制で35人から申し込みがあり、25人からアンケートの送信があった。その方々に視聴者プレゼントをお送りした。「プレクーリングという考え方を初めて知りました。運動する前(汗をかく前)に飲んで体を冷やす。今後取り入れていきたいです」などの感想が寄せられた。

2-4-2. 「ふれパト大志」向け研修

ふれパト大志向け研修ではなく、一般公開で「地域安全セミナー」を開催していくこととした。第1回地域安全セミナーは、8月7日、YouTubeLiveで配信。アーカイブも一般公開している。メインは副代表理事、平田の「コロナ禍の犯罪情勢とふれパトの工夫」、サブは中沼の「ふれパトの社会的インパクト 01 犯罪情勢の基本認識に基づく設定」とした。これに、学生委員会の設置準備会を

構成する学生、青木菜菜美さんの「水辺での事故を防ぐために ライフセーバーとしてふれパトに活かせると思う視点」、森田瑞稀さん「過年度ふれパトTシャツ販売の詳細」が続いた。

2-4-3.ふれパトの視察や講師派遣の希望に応じる「歓迎ふれパト」「伝授ふれパト」
COVID-19の影響があり、実施できなかった。11月に予定しているHPのリニューアルでPRして、視察や派遣の希望に応じていきたい。

2-5. 地域安全に関する調査研究事業

2-5-1.ふれパトで走ったコースと犯罪などの事案発生箇所を地図上で示す「ふれパトコース報告」のインターネットでの公開

現在、更新がとまっているので、2021年度は随時更新できる体制を早めに確立する。

2-6. 地域安全に関する出版物などコンテンツ制作発行事業

2-6-1.ふれパトのこれまでの3カ年をまとめた報告書の発行

現在作成中であり、2021年内に発行する。

2-6-2.ふれパトの実施方法をまとめたマニュアルの販売

11月に予定しているHPのリニューアルで販売の案内を始める。

3. 事業実施体制

3-1. 理事会

理事会を次のとおり開催した。すべて Zoom による開催。審議事項のみ掲載する。理事会メンバーは slack を使い、日常的に情報共有・意見交換・業務分担をしている。

3-1-1. 第1回(4月10日、理事全員出席)

(1) 代表理事及び副代表理事の確認

(2) 理事の業務分担

(3) 顧問推薦

(4) ふれパト大志委嘱要綱

(5) プライバシーポリシー

3-1-2. 第2回(5月30日、理事全員出席)

(1) 当面の会計処理についての申し合わせ

3-1-3. 第3回(6月19日、理事全員出席)

(1) チームふれパトに関する要綱

3-1-4. 第4回(8月29日、理事全員出席)

(1) ふれパト大志委嘱に関する要綱の改正

(2) チームふれパトに関する要綱の改正

3-2. 事務局

定款上の事務局は置いていない。事務は、主に代表理事の中沼が行っている。

3-3. 会計

現金は法人名義の銀行口座(PayPay 銀行ビジネス営業部普通預金5228185)で一括管理している。口座にアクセスできるのは、中沼と理事の安原。

法人名義のクレジットカードは未作成で、クレジットカード払いは中沼個人のもので行っている。その支払いなどが貸借対照表上の役員借入金に計上されている。

クラウド会計ソフト freee を用いている。日常の処理は中沼が行っている。アクセスできるのは中沼と副代表理事の平田、安原の3人。

会員の利便のために PayPay アプリを用いている。ID は「ふれパト」だが、中沼個人のもの。ここに入金される金額が貸借対照表上の役員貸付金に計上されている。